

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）6

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43782

41
9
28
牛場審議官・エマソン代理大使公談

秘

事務次官

外務審議官

アジア局長

北米局長

参事官

北米課長

エマーソン代理大使の牛場審議官
来訪について

41. 9. 28

北米局中島

9月28日朝、牛場審議官エマーソン
米代理大使が来訪、約30分間以下の
とりの会談が行われた。(中島北米
局参事官陪席)

(1) エマーソン代理大使より別添①の
ジョンソン大統領から佐藤総理宛の

24号、26号台同被呈に対する見舞電報
を手交した。(口)

(2) 次に、エマーソンより、「今般ワトソ
高等弁務官が退任、辞任するに

なった。後任者は別添②のUnger

GA-8

外務省

陸軍中將である。この決定は東京
時間午後10時(ワシントン時間明日

午前9時)、ワシントンと沖繩において
同時発表の予定であるので、それまでは

絶対極秘にお願いしたい。ワトソ高等
弁務官は来たる日曜ないし月曜日に

沖繩に去発、帰国の予定であり、東京に
立寄るか否かはまだ具体的に聞いてい

ない。」と述べた。

これに対し牛場審議官より、「ワトソ

高等弁務官は種々沖繩問題に尽力
していただき、またわが政府首脳とも

懇懇であるので、わが方より東京に立寄
っていただきたいと希望するかも知れ

GA-8

外務省

ない。と言述べた。

(1) 次にエマーソンより、情報として

お伝えするが、マニコス・フィリピン大統領の訪米は非常に成功であった。ジョンソン

大統領との会談のほか、米議会、国連、ワシントン国際記者クラブ、ニューヨーク

おける演説等、非常に好評で、大統領のアジア問題に対する意見は各方面で

傾聴され、またその人柄は米国民に好印象を与えた。尚東京訪問を念

に於て対日問題については全然言及されなかつた。なお大統領側近で最も重要

且背後にあって大統領に最も大きな影響力を持つておられるのはロマンデス大

蔵大臣であるとみられると述べた。

牛場審議官の「今回発表された

マニラ会議については、どのような話し合いが行われたか」との問に対し、エマーソンは、

「この点については全然インフォメーションを得ていない」と述べた。

尚先方が日本側の反響を聞いたのに対し、牛場審議官より「新聞にエ

ースとして出る程度で、現在のところ特別の反響はまだみられない」と述べた。

(4) 牛場審議官の問に対し、「ジョンソン駐米大使の着任の時期は大体

10月末ごろになるだろうが日取りはまだはっきりしない。」旨及びコーラ-新副次

官は、これまで主に中近東、東欧関係を担
当してきているが、アジアについては、全然

経験がない旨を述べた。

CONFIDENTIAL

8/1/64

LIEUTENANT GENERAL FERDINAND THOMAS UNGER

[REDACTED]
Military Academy. Over 29 years active service.

Present Assignment: Deputy Chief of Staff for Individual Training, U.S. Continental Army Command, Fort Monroe, Va.

Major assignments last ten years: Commanding General, 7th Infantry Division, U.S. Army, Pacific (1964-1965); Director of Operations J-3, Joint Staff, Joint Chiefs of Staff, Washington (1962-1964); Chief of Staff, Third Army, Fort McPherson, Georgia (1961-1962); Group Commander, 72nd Artillery Group, U.S. Army, Europe (1960-1961); Executive Officer, Supreme Headquarters Allied Powers, Europe (1958-1960); Student, National War College (1957-1958); Director, Department of Tactics and Combined Arms, Artillery and Guided Missile School, Fort Sill, Oklahoma (1955-1957).

CONFIDENTIAL

Tokyo, Japan

September 23, 1966

Dear Mr. Prime Minister:

Today I received from President Lyndon B. Johnson the attached message to you. May I add my own expression of sympathy to you for such unfortunate losses.

Sincerely,

John K. Emerson
Charge d'Affaires ad interim

Attachment
Letter from
President Johnson

His Excellency
Eisaku Sato
Prime Minister of Japan

The White House
September 27, 1966

Dear Mr. Prime Minister:

The American people have been shocked and saddened by the loss of life and damage caused in Japan by typhoons within the last several days. Please accept my sincere condolences.

Sincerely,

/s/ Lyndon B. Johnson

His Excellency
Eisaku Sato
Prime Minister of Japan